

事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3 年 3月 20日

事業所名 わくわくスクール三芳校

職員数 9 回収数 9 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別の勉強スペースも含め確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	足の不自由な子ども通所しているの、手すりや台の設置などの配慮は必要である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			アルバイトを含めた職員全体から改善点等を吸い上げていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回が初めての実施となります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回が初めての実施となります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後機会をつくり実施していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修は正社員のみ受講することとしているため、来年度はアルバイト職員を含め研修を受けることとする。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員間で担当者会議を開催し、そこで出された意見に基づき児童発達支援管理者が作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	いまのところは使用していないが、今後必要に応じて使用を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			基本的には曜日ごとに担当を振り分けており、担当の職員が主となってプログラムを立案して
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日ごとに担当を決め毎日違った療育プログラムを提供できるよう配慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別学習を基本とし利用児童の特性に基づきグループワークやイベントを開催している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に応じてグループワークと個別学習支援を組み合わせ療育を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			繁忙期を除き行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			子どもの受け入れ状況によっては、打ち合わせ時間を確保できない日もあるので、今度の工夫が必要になる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日業務終了後と月末に記録の漏れがないかを確認している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6カ月に一回必ずモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		個別の学習支援、土曜日イベント、グループワークを組み合わせ合わせて行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者、児童発達支援管理者、指導員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者からの要請に応じ、送迎の時間を事業所内で確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当する子どもの利用は今のところない。必要があれば連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者からの情報提供を基本としているが、今後就学前に保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有の必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当する児童の利用がない。今後必要があれば体制を整えていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		年に最低1回以上は社員各自、研修を受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	土曜日を利用して児童館を利用することがある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	現在のところ参加はない。今後、積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		お迎えの時間や連絡帳、送迎時に保護者に子どもの状況をお伝えしている。必要に応じて電話でのコミュニケーションもとっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ご自宅での子どもの対応についてアドバイスをすることがあります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子どもの送り迎え時、お電話または面談時に適宜行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	実現できていないが、企画を考える。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者様からのご指摘は真摯に受け止め、今後の教室運営に努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月わくわく通信を発行し、連絡事項、先月の様子、来月のイベントなどを発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分に注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードを使ったり文字を使ったり伝え方に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在のところ出来ていないが、今後実施していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員間ではできているが、保護者へはできていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練に加えて、防災に関するイベントを実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修の機会を設け周知徹底している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束を必要とする児童の利用がないため、想定していないが必要があれば、保護者との十分な理解を得る。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アレルギーについては保護者からの指示に従っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成し、周知徹底している。